



馬驥水墨画会報

平成15年11月22日発行
第11号(特別記念号)

発行所 馬驥水墨画会全国本部事務局
〒170-0013 東京都豊島区東池袋 5-39-16
グランドメゾン東池袋 101 馬驥水墨画展示館内
☎03-3987-7474 http://www.makyo.jp

目次 Table of Contents

特集 第4回・馬驥芸術大賞展

- 馬驥水墨画会の25年と馬驥芸術大賞展の歩み……page 1
- フルカラー完全保存版!! 出品作品一覧……page 2-4

ANNIVERSARY
25 SINCE 1979

馬驥水墨画会の25年と 馬驥芸術大賞展の歩み

馬驥水墨画会は、馬驥が日本帰国を果たした1979年に、水墨画の普及と地位の向上を目指して、彼の本籍地・静岡で設立されました。馬驥は、水墨画家として国内外で個展を開催する一方で、書籍やビデオの出版、講演など幅広く精力的に行なうなど、芸術創作活動および水墨画の教学活動を続けています。

1991年9月、東京・東池袋に馬驥水墨画展示館を創設。画会本部事務所を展示館内に移し、本部と各地の会員を結ぶ活動の拠点としました。そこでは、馬驥／王荻地の2名を講師として定期講座(入門／研修／師範)、通信講座、特別集中講座が運営され、水墨画指導者の育成と、水墨画普及活動が行われています。この25年間に養成した指導者や水墨画の実力者は、約1,000名に上ります。

馬驥水墨画会は、馬驥と会員の中から選ばれた役員により運営されています。役職として主宰(代表)、顧問、副会長、常任理事、理事、各支部の支部長／副支部長、主任講師と添削グループ講師を置いています。一般の会員も画会活動に主体的に参加しており、取り組み甲斐のある生涯学習の場となっています。

1993年、東京芸術劇場にて「第1回・日中水墨画交流展」を開催し、対外活動を本格化させました。その後、第2回を米国、第3回を中国など、世界を舞台に国内外の水墨画家との交流を続けてきました。1999年以降、「馬驥芸術大賞展」と名称変更し現在に至ります。

歴代の実行委員長／審査委員長には、世界的な著名画家や美術史家、美術評論家が名を連ねています。本年度、第4回・馬驥芸術大賞展では実行委員長に版画家・北岡文雄氏、審査委員長に彫刻家・麦倉忠彦氏を、審査委員に書道家・篆刻家・李燕生氏と洋画家・黄傳偉氏をお迎えしました。

優秀作品展、日中交流展、馬驥芸術大賞展にスケッチや写生などの特別展も含めた会員による作品展は年平均1回開催され、来場者は25年間で延べ約4万人を数えます。また、国内に14ある地方支部が企画する支部展の開催数は延べ82回を数え、総来場者数は約1万6000人に上ります。さらに、画会主催以外でも国内外で講演や講習会を行ない、受講者の総数は延べ5万人を数えます。過去25年の講座開設場所には北海道から九州まで国内36都市の他、上海、パリ、ニューヨーク、ウィーンなど海外があります。



当画会講師・馬驥／王荻地による水墨画関連の著作物が各出版社より刊行されています。2人が執筆した書籍、技法書は計37冊、雑誌掲載数延べ70回以上、今日まで合計約28万部刊行され、幅広く愛読されています。これらは会員の教材としても利用されています。

この25年間に馬驥水墨画会を育ててくださいました国内外の政府機関や地方自治体、日中友好団体、国内外の美術団体、芸術家、水墨画家、恩師、評論家、出版関係者の方々、これまでにご支援いただいた皆様には会員一同、心よりお礼申し上げます。今後ともご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



池袋駅前の東京芸術劇場は、大賞展の会場としては最も多く利用させていただきました。もちろん本年度も。

平成15年度 第4回 馬驥芸術大賞展 特別号

馬驥水墨画会創立25周年記念

第4回・馬驥芸術大賞展

大賞展題字: 駒 雷(前田中國大使館文化参事官)

会場: 東京芸術劇場 5F展示ギャラリー
東京都豊島区西池袋1-8-1 電話03-5391-2111

主催: 馬驥芸術大賞展実行委員会
馬驥水墨画会全国本部
(馬驥水墨画展示館内/電話03-3987-7474)

後援: 中国大使館文化部/日中文化交流協会/日中友好
協会全国本部/日貿出版社/日本美術教育センター/
日本通訊美術学院/可成屋

会期: 2003年11月22日(土)~11月25日(火)
A.M.10:00~P.M.7:00(最終日はP.M.4:00)

実行委員長 審査委員長

北岡 文雄(中国書道研究会会長)
麦倉 忠彦(中国書道研究会会長)

審査委員

黄 傳偉(中国書道研究会会長)
李 燕生(中国書道研究会会長)

実行委員

田口婦美子 山崎重之 柏木美保子 矢谷和雄 山口泰子

馬驥芸術大賞展の歴史

これまでの馬驥芸術大賞展を表にまとめました。年代の近い順に並べてあります。記載された役職名は当時のものであり現在とは異なる場合があります。

第3回 馬驥芸術大賞展

会期: 2001年10月4日~8日
会場: 東京芸術劇場 5F展示ギャラリー
実行委員長 室伏 哲郎(アーティスト・クリエイター)
審査委員長 岸 由紀子(アーティスト・クリエイター)
審査委員 馬 駒(中国書道研究会会長)

第2回 馬驥芸術大賞展

会期: 2000年12月11日~15日
会場: 東京芸術劇場 5F展示ギャラリー
実行委員長 室伏 哲郎(アーティスト・クリエイター)
審査委員長 岸 由紀子(アーティスト・クリエイター)
審査委員 馬 駒(中国書道研究会会長)

第1回 馬驥芸術大賞展

会期: 1999年11月16日~21日
会場: 東京芸術劇場 5F展示ギャラリー
実行委員長 安藤 一良(中国書道研究会会長)
審査委員 生内 玲子(中国書道研究会会長)
王 荻地(書道家)
木下 忠司(書道家)
北岡 文雄(中国書道研究会会長)
味岡 味(中国書道研究会会長)

1993年~1998年

この時期、大賞展は日中水墨画交流展と呼ばれていました。

第6回 日中水墨画交流展

会期: 1998年10月14日~18日
会場: 東京芸術劇場 5F展示ギャラリー
実行委員長 官 布(中国書道研究会会長)
審査委員長 王 荻地(書道家)

第5回 日中水墨画交流展

会期: 1997年9月30日~10月5日
会場: 東京芸術劇場 5F展示ギャラリー
実行委員長 北岡 文雄(中国書道研究会会長)
審査委員長 聞芳卓三(中国書道研究会会長)
審査委員長 夏 積琦(中国書道研究会会長)

第4回 日中水墨画交流展

会期: 1996年10月1日~4日
会場: 東京芸術劇場 5F展示ギャラリー
実行委員長 鄭 林(中国書道研究会会長)

第3回 日中水墨画交流展

会期: 1995年10月22日~26日
会場: 中国国立上海美術館(中国書道研究会会長)
名譽顧問 謝 柳鈞(中国書道研究会会長)
実行委員長 程 十髮(中国書道研究会会長)
審査委員長 丁 義元(中国書道研究会会長)

第2回 日中水墨画交流展

会期: 1994年10月15日~21日
会場: 東方芸術センター(アーティスト・クリエイター)
実行委員長 丁 紹光(中国書道研究会会長)

第1回 日中水墨画交流展

会期: 1993年6月1日~6日
会場: 東京芸術劇場 5F展示ギャラリー
実行委員長 鶴 鶴(中国書道研究会会長)
審査委員長 丁 義元(中国書道研究会会長)

第4回・馬驥芸術大賞展「役員作品」ギャラリー

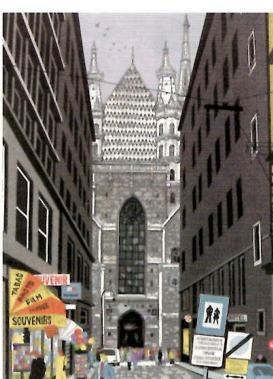
実行委員長、審査委員長、4名の審査員の作品をご紹介します。



●花の雪(彫刻)
審査委員長/麦倉忠彦



●涼風(油絵)
審査委員/黄 傳偉



●聖シュテファン寺院(版画)
実行委員長/北岡 文雄



●墨魂頌(書道)
審査委員/李 燕生



●白椿(墨彩画)
審査委員/王 荻地
●恋物語(没墨画)
審査委員/馬 駒



●ひと休み 山口 泰子 茨城



●間垣の見える風景(能登) 桜井 美文 長野



●山懷之央 浅沼 保(桂馬) 静岡



●requiem(鎮魂曲) 大倉 恭子 東京



●白桔(習作) 長江 梢(梢) 福岡



●カナディアンロッキー 布 峰子 千葉



●追憶の夏 柏木 美保子(美保) 埼玉



●遊 笠井 淑江 東京



●北国の初夏 鎌島 純子 北海道



●アモ・ブラジル 木村 洋子(紅峰) 東京



●鬼夜に舞う火 佐野 クミ子 神奈川



●玉竜 雪山 松井 重泰(遊山) 東京



●里人の想 石井 悅夫 関山



●花(習作) 伊木田 真理子(真理) 福岡

無鑑査

無鑑査は、過去の馬驥芸術大賞展と日中水墨画交流展における大賞受賞者により描かれた作品です。



●雪 高橋 周子 東京



●雪の棲子舞 木村 峯子 埼玉



●かぐや姫 山崎 発江(青翠) 千葉



●日光参道並木の朝 山崎 重之 東京



●天空の都へ 田口 婦美子 静岡



●秋の彩り 山崎 美代子(陽香) 東京



●一緒に聴こうよ 徳納 美津 埼玉



●大和路の深き談いの山 新田 邦子 東京



●里の秋 野島 浩三(宏修) 神奈川



●ひと休み V 杉山 祥鳳 静岡



●晩秋 永田 みえ子(美月) 静岡



●夏 鈴木 静江 静岡



●波濤灌漑 島菊 幸子(玉枝) 神奈川

総評

第4回・馬驥芸術大賞展 審査委員長 麦倉 忠彦
馬驥水墨画会全国本部 主宰 馬驥

平成15年の第4回・馬驥芸術大賞展は、墨が主体の水墨画、具象、抽象、墨彩画など制作者が自分の心に素直に新時代の水墨画芸術創作を追求した個性ある作品を審査基準としました。

今年は105名の会員の力作が集まりました。いずれの作品も筆遣い、墨の使用、構図変化など魅力あふれるものばかりでした。全般に表現力が向上しており、優れた作品が目立ち、低いレ

ベルのものはありませんでした。今後も確たる自信と意欲を持って大胆で創造的な制作に励んでください。

今年の審査は、画会外の専門家も加わり、出品作品について慎重に意見を交換しながら、馬驥芸術大賞と各表彰を公正に選定しました。

次回、大賞展では新たに水墨画家コーナーを増設し、実力ある新人水墨画家として水墨画界に推薦します。

平成15年11月1日
馬驥アトリエ(草加)にて



●真剣な表情で作品を評価する審査員。左から馬驥氏、麦倉忠彦氏、王荻地氏、黄傳偉氏、李生氏。作品は順番に1枚ずつ貼り出され、審査員それぞれが採点し、最後に点数を合計する方法で受賞を決定した。

馬驥水墨画展示館



設立目的

- ・水墨画の地位向上と普及
- ・馬驥作品の紹介と展示
- ・水墨画を通じた文化社会への貢献

業務内容

- ・馬驥の代表作と最新作の常設展
- ・国内外の絵画名作展の開催
- ・馬驥水墨画会全国本部事務局

開館時間

11:00~18:00 休館日:毎週日曜、月曜と第3土曜

ご連絡先

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 5-39-16
グランドメゾン東池袋101 Tel.03-3987-7474

馬驥水墨画会教室のご案内

●指導/馬驥・王荻地 場所/馬驥水墨画展示館
入門講座 研修講座 師範講座 通信講座

初心者から上級者まで実力に応じて選べます。

●教室に関する詳しい資料をお送りします。

●見学も隨時承ります(予約制)。

お気軽にお問合せください。

☎03-3987-7474



●交通機関 JR山手線「大塚」駅徒歩6分
または地下鉄丸ノ内線「新大塚」駅徒歩10分

馬驥芸術大賞



●夢
土田 純子 東京



●遅桜
水上 令子 (白玲) 東京



●芙蓉
服部 京子 (紅舟) 東京



●いたずらっ子
根岸 協子 東京



●聖
木村 鶴思 (香恵) 愛知



●蓮に雨滴
高橋 由利子 埼玉



●季秋
山部 美保 東京



●そよ風の中で・コアラ
佐藤 千恵子 (花恵) 静岡

馬驥芸術準大賞



●京都祇園さん
川本 敏子 東京



●老杉春華
高寺 廉一 東京



●山里
染野 稔子 (有鮮) 東京



●秋の晝
廣住 美智子 (翠豊) 静岡



●石榴
荷見 博子 東京



●祖谷渓
今田 洋子 広島



●森の王者
加藤 宏子 (瑞芳) 千葉



●横浜炎舞
須藤 正行 東京



●屋下かりのテラス
竹井 嘉郎 東京



●ヴェネツィア印象
藤間 美千子 埼玉



●南伊豆景観
矢谷 和雄 神奈川



●溶岩の奇勝
大野 洋子 静岡



●滝 ユリ
藤田 隆 東京



●村の一本杉
佐藤 耕三郎 東京



●時計台
根本 京子 (静岡) 静岡



●くらげの舞
重富 房子 (房) 東京



●すだれ滝
新澤 淑子 千葉



●新時代の天地人
岡崎 豊輝 (剣道) 東京



●どれかかな
原田 利子 埼玉

馬驥水墨画会25周年記念展大賞



●洋蘭
井上 京子 (藤苑) 東京



●白糸の滝
佐野 国子 (玉泉) 静岡



●あじさい
藤原 田鶴子 (彩華) 東京



●舞蹈 羽根のように
酒井 友子 (友雪) 東京



●日溜まり
関 里子 東京



●カトレア
高木 まり子 東京



●大輪
原田 恭子 (笛水) 千葉



●ギリシャ遺跡
原 悠紀恵 福岡



●防衛
上坂 幸市 (秀湖) 茨城



●大内宿
出水田 久子 神奈川



●至仙山の朝明け (五月)
寺門 ミチ (道) 東京

平成15年度／第4回
馬驥藝術大賞展

出品作品一覽

馬驥水墨画会25周年記念展準大賞



●奥入瀬渓流 藤原 吉光 東京



●里の春 濱田 そよ子(爽風) 奈良



●砂漠の廃墟「高昌古城」 山中 和子 東京



●秋の夕ぐれ 保立 八重子 東京



●秋韻 金松 章恵(美香) 東京



●白蓮 横山 久美子 東京



●北の大地 山口 満恵 東京



●かちどき橋 鈴井 松枝 東京



●トレドの丘 佐藤 美奈子(美奈子) 東京



●吉野山 八幡 佐起子(銀宇) 奈良



●自己天地 阿部 実明 東京



●芒 野 潤田 千代子 埼玉



●古寺懐ぶ 道江 義輔(頼道) 埼玉



●水汲み 鈴木 愛子 埼玉



●大自然 杉山 友一(潤水) 静岡



●阿武隈川源流(赤鶲) 荒井 美代子 福島



●施無畏 安達 良元 東京

馬驥水墨画会
25周年記念展賞

●鴻江 松下 勝 東京



●夏野菜 児玉 喜年 埼玉



●好日 国府田 つや子 東京



●大地の聲 河内 啓子(流芳) 埼玉



●夏の思い出 岩城 スミ子 干葉



●残照 小林 巍 干葉



●屋形船 春山 たけ子 東京



●舞ひ鶴 有馬 練子 東京



●無題 雨宮 雅子 埼玉



●深山飛瀑 山口 英三 栃木



●嵯峨野の春 柳 早苗 京都



●粹な女(ひと) 西田 弓枝 神奈川



●霧の知床 山森 久美子 神奈川



●霧の知床 山森 久美子 神奈川



●初夏の朝 坪内 澄代 埼玉



●どくだみ草 桜井 栄子(栄子) 東京



●風雨に耐えて 渡邊 芳子 東京



●月桃の香る日 運天 清子(琉草) 沖縄



●桃 青野 省三(方山) 埼玉



●老梅圖 相原 作治郎(望月) 秋田



●竜門奉先寺仏像 植村 静子 東京

馬驥水墨画会25周年
記念展特別賞